

「奥武蔵らくらく交通（公共交通空白地有償運送）」の実施状況について

1 現状

昨年度、埼玉県知事への自家用有償旅客運送の登録を行い吾野地区・東吾野地区の両地区を範囲として事業が実施されています。実施状況については次のとおりです。

- (1) 登録者数 98名 ※令和2年1月31日現在
 吾野地区：62名、東吾野地区：30名、地区外：6名
 男性：35名、女性：63名
 80歳代：47名、70歳代：29名、60歳代：11名、
 50歳代：3名、50歳未満：5名、年齢不明：3名
- (2) 自動車数 10台（4台追加あり） ※令和2年1月31日現在
 うち2台軽自動車、すべて持込車両
- (3) 運転手数 10名（4名追加あり） ※令和2年1月31日現在
 うち1名2種免許有、すべての運転手について道路運送法施行規則第51条の16に掲げる国土交通大臣認定運転者講習を受講済

(4) 運行状況

○平成30年度（12月9日運行開始）

年	月	運行回数（回）	輸送人員（人）	走行距離（km）
平成30年	12	8	9	23.9
平成31年	1	14	18	56.9
	2	15	18	72.8
	3	33	38	164.5
年度計		70	83	318.1

○令和元年度

年	月	運行回数（回）	輸送人員（人）	走行距離（km）
平成31年	4	36	46	188.5
令和元年	5	34	48	446.8
	6	29	37	250.2
	7	38	43	360.4
	8	40	51	378.9
	9	56	72	406.0
	10	43	49	441.2
	11	23	26	169.6
	12	67	75	451.6
年度計		366	447	3093.2

- ・地区内の移動に利用しているケースが多く、目的地は最寄りの鉄道駅、地区内の公共施設、金融機関、医療機関が多い。
- ・登録者、利用者とも徐々に増加している。
- ・ドライバーは吾野、東吾野の両地区に確保されており、利用者の家から近いドライバーが対応できることで効率よく運行されている。
- ・地区外の利用者の利用実態については、鉄道駅から地区内の実家までの移動のために利用するケース、地区内の特別養護老人ホームに入所する家族等を訪問するために利用するケースがある。

(5) 利用者からの声

- ・高齢になり鉄道駅まで3キロの道のりを歩くのが大変だった。ラクタクができて良かった。
- ・運転をやめてから地区内の友人宅にも行けなくなっていた。会いに行けるようになり、ありがたい。
- ・通院に使っている。大変便利になったが、日高市の岡村記念クリニックまで利用できると助かる。

2 課題

(1) 日高市内の医療機関への運行についての要望

吾野、東吾野地区から国道299号を通過して中心市街地に向かう場合、途中で日高市を通過することになる。このような地理的な状況もあり、通院、買い物等で日高市の施設を利用している住民も多い。吾野・東吾野地区から近い日高市内の医療機関への運行範囲の拡大についての要望が数多く寄せられている。

運行要望の多い医療機関

医療機関名	施設所在地
岡村記念クリニック	日高市栗坪230-1
武蔵台病院	日高市大字久保278-12
埼玉医科大国際医療センター	日高市大字山根1397-1

(2) 福祉タクシー券の利用に対する要望

障害者の療育手帳を所持する市民から、市が交付している福祉タクシー券を「奥武蔵らくらく交通」で利用できないか相談があった。全国的にも例がなく、今後も市障害者福祉課、県の担当課等と検討をしていく。